

(8) 公共事業終了箇所評価（令和6年度に行った事業）

ア 実施状況

① 対象

○公共事業終了箇所評価件数

農林水産部所管事業	5件
建設部所管事業	3件
合 計	8件

○公共事業終了箇所評価の対象

県が実施した公共事業（農林水産部及び建設部が所管する国庫補助事業及び県単独事業）であって、総事業費が10億円以上で、かつ、事業が終了した日から2年を経過した日の属する年度が令和6年度である事業箇所を対象とする。

ただし、次の各号のいずれかに該当する事業箇所を除く。

- 一 災害復旧事業及び災害復旧に関連する事業箇所
- 二 道路、河川等の施設の維持修繕に係る事業箇所

② 実施時期

事業所管課長の評価 令和6年11月

③ 評価に用いた観点及び評価基準

観点	評価項目		判定基準		配点	各観点の評価結果	
ア 有効性	一 住民満足度等の状況	a	住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い		2点	A：有効性は高い （4点） B：有効性はある （1～3点） C：有効性は低い （0点）	
		b	住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度等が高くない		1点		
		c	住民満足度等を把握していない		0点		
	二 事業目標の達成状況	a	目標値に対する達成率が100%以上		2点		
		b	目標値に対する達成率が80%以上100%未満		1点		
		c	目標値に対する達成率が80%未満		0点		
イ 効率性	一 事業の経済性の妥当性	費用便益比	a	B/Cが、国庫補助採択基準がある場合はそれ以上、その他の場合は1.0以上となっている		2点	A：効率性は高い （2点） B：効率性はある （1点） C：効率性は低い （0点）
			c	B/Cが、1.0未満		0点	
		コスト削減の状況（費用便益比が算定できない場合）	a	当初と比較して最終コスト削減率が20%以上		2点	
			b	当初と比較して最終コスト削減率が20%未満		1点	
			c	当初と比較して最終コスト削減がなし		0点	

評価結果の判定基準

評価結果	判定基準
A：妥当性が高い	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合
B：概ね妥当である	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合
C：妥当性が低い	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合

イ 公共事業終了箇所評価結果の概要及び評価結果の反映状況

① 評価結果の概要

■農林水産部(5箇所)

No	課名	事業名	工区名	事業箇所	事業内容	総事業費 (百万円)	県の総合評価
1	農地整備課	経営体育成基盤整備 事業	末広	鹿角市	区画整理 A=128.5ha	3,402	妥当性が高い
2			上川沿	大館市	区画整理 A=220.7ha	5,413	妥当性が高い
3			カラムシ岱	北秋田市	区画整理 A=31.8ha	1,272	妥当性が高い
4			芦崎	三種町	区画整理 A=52.1ha	1,892	妥当性が高い
5			藪台	大仙市	区画整理 A=208.1ha	4,452	妥当性が高い

■建設部(3箇所)

No	課名	事業名	工区名	事業箇所	事業内容	総事業費 (百万円)	県の総合評価
1	道路課	地方道路交付金事業 (改築)	国道105号 (草峠)	仙北市	現道拡幅 L=2,900m	1,554	妥当性が高い
2			(一)白岩角館線 (大威徳橋)	仙北市	バイパス L=780m	1,446	妥当性が高い
3		地方道路交付金事業 (雪寒)	国道105号 (上桧木内)	仙北市	バイパス L=1,600m	1,167	概ね妥当である

② 評価結果の事業への反映状況

当該事業箇所の維持管理や同種事業の計画・調査等に反映（個別箇所への反映状況は、各公共事業終了箇所評価調査に記載）